

平成27年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人柔道大会 要 項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 平成27年10月3日(土)
7時00分 開場
7時30分 役員・顧問集合・顧問会議
7時50分 選手集合・計量・柔道衣検査(8時30分終了)
8時30分 審判会議
8時45分 開会式
9時00分 試合開始

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113

5 大会役員

専門部長	大野 稔(あずま中)			
専門副部長	大谷 稔(赤堀中)	関口 雅晶(宮郷中)		
専門委員長	三輪 洋介(宮郷中)			
委 員	清水 直樹(第一中)	竹林 千晴(第一中)	新井 聡明(第二中)	
	佐藤 裕之(第二中)	橋本 和也(第三中)	永井 令子(第三中)	
	内田美智子(第四中)	高橋 哲(第四中)	三塚 良浩(殖蓮中)	
	関口 博幸(殖蓮中)	宮澤 有子(宮郷中)	阿佐美 勝(赤堀中)	
	坂部 洋平(赤堀中)	木暮 寛幸(あずま中)	澤浦 美香(あずま中)	
	佐藤 康(境南中)	佐藤佳代子(境西中)	佐藤実可子(玉村中)	
	中島 雅彦(玉村中)	勅使河原章雄(玉南中)	中嶋祐一郎(玉南中)	

6 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定(2014施行の新ルール)および「少年大会申し合せ事項」による。
また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、佐波伊勢崎中体連申し合せ事項を優先する。

7 選 手

- (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。
- (2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。
- (3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
- (4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
- (5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。
- (6)男子個人戦は第1ブロックと第2ブロックの2階級、女子個人戦は1階級とする。
ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。

8 試合時間

《団体戦》予選リーグ 2分 決勝トーナメント 3分

《個人戦》 2分

9 試合方法

《団体戦》団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が2段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1)男子は1組を5校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校、6校によるトーナメント戦を行う。女子は1組を4校と5校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校、6校によるトーナメント戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、代表戦により決定する。

《個人戦》

(1)男子は2階級、女子は1階級でトーナメント戦を行う。

(2)個人戦における判定基準は、「有効」または「指導1」以上とするが、2分間の試合時間における試合態度、技の巧拙等を比較して、必ず勝敗を決する。

10 表彰 団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校には準優勝杯及び賞状を授与し、第3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級の優勝者に賞状を授与する。

11 代表資格

《男女団体戦》 9月3日の県運営委員会で協議し、決定となります。

男子は、優勝校及び準優勝校、3位校2校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

女子は、優勝校及び準優勝校、3位校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

《男女個人戦》

県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

(1) 男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールテツスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

(2) 決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールテツスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

《個人戦》

(1) 得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。延長戦は行わない。

13 その他

(1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5～10cm下に下記のように付ける。

(2) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用する。

(3) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(5) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。

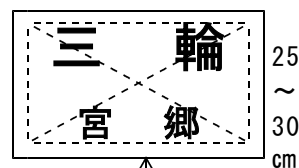
(6) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学
					校
					名
					補 補
					員 員
(白模造紙1/4 または B4を2枚)					

(ゼッケン)

30 ~ 35 (cm)



- ・ 男子は黒、女子は赤文字
- ・ 対角線にも強い白い糸で縫いつける。
- ・ 指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。